

Information

就労継続支援B型、就労支援スタッフ募集！

特定非営利活動法人山脈では、下記の事業所のスタッフを募集しています。詳しい業務内容、待遇等については、採用担当までお問合せ下さい。電話0279-54-2947（笹澤まで）

【麦のゆめ（就労継続支援B型）】

募 集	就労支援スタッフ	パート職員
事 業	パンやお菓子の製造と販売、内職作業	
業 務	パンやお菓子の製造、配達、販売、利用者の作業指導及び相談支援、記録等の事務など	
勤 務	6～7時間	
休 日	水曜日、日曜日、祝日	※販売イベント等で休日勤務もあり
資 格	要自動車運転免許	
待 遇	時給 910円～	
その他	昇給 昨年実績 時給 30円UP	
	賞与 昨年実績 夏、冬、年度末の計3回	
	各種手当、有給休暇、退職金共済加入、社会保険及び労働保険加入	

新年度(令和5年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口 2,000 円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000 円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発 行 特定非営利活動法人 山 脈 理事長 笹澤 繁男

住 所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2（みやま工房内）

電 話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：http://www.npo-yamanami.jp/

運 営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」

就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

（文責：笹澤賢一）

NPO

法人

山脈ニュース

2023.4

No.237

令和5年度 特定非営利活動法人山脈の運営体制

今年は3月に入り暖かい日が続き、桜の便りも例年より早く届き、桜満開の中、新年度を迎えました。

過日、2月10日、特定非営利活動法人山脈は創立より19年目に突入し、来年はいよいよ節目となる創立20年目の年を迎えます。この間、山脈は行政、医療・福祉、地域の方々、そして、利用者とそのご家族など、多くの方々にご理解とご支援を賜り、活動を続けて参りました。本当に感謝申し上げます。

さて、迎えた令和5年度も長引くロシアのウクライナ侵攻による社会や経済への影響、未だ終焉の見通せない新型コロナウィルス等により障害者福祉を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況が続くと思われます。

山脈は、昨年に引き続き、法人設立の「障がいや心の病があっても地域で当たり前の生活ができる社会の一助になりたい」との初心に立ち返り、目まぐるしく変わり続ける障害福祉サービスに係る制度や施策に翻弄されることなく「目の前の利用者の方のニーズに実直に向き合い、地に足のついた支援の実践と障害福祉サービス事業の経営」を目指すべく、以下の職員を中心とした体制にて法人運営をして参りますので、令和5年度もご理解とご支援のほど宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人山脈 事務局

理 事 長

笹澤 繁男

事務局長

渡邊 裕治

就労継続支援B型 みやま工房

管 理 者

小野 聡司

サービス管理責任者

渡邊 裕治（兼務）

就労継続支援B型 キッチンハウスみやま

管 理 者

船津 和彦

サービス管理責任者

大井 由紀子

就労継続支援B型 麦のゆめ

管 理 者

芦川 香織

サービス管理責任者

芦川 香織（兼務）

共同生活援助 ハーモニーやまなみ

管 理 者

笹澤 賢一

サービス管理責任者

松岡 玲子

小林 かおる

※理事長については、現任の笹澤繁男氏より令和5年5月末の任期満了を以て退任の意向があり、次期理事長は、近日、定例理事会にて選任される予定です。

※令和5年度より、毎月1回、理事長、事務局長、管理者等で構成される経営委員会を開催し、法人及び障害福祉サービスの実質的な経営を実践します。



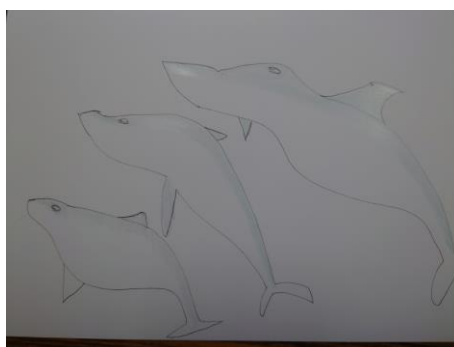
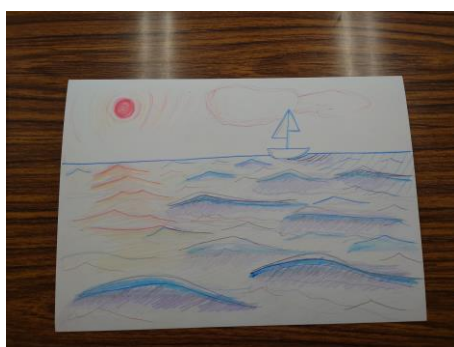
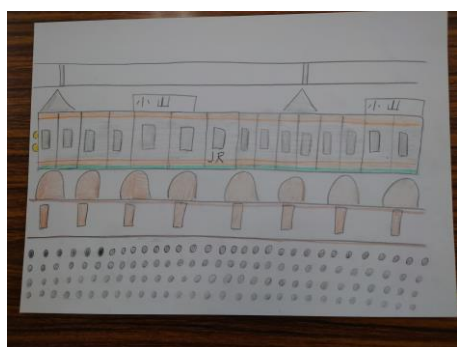
「みんなのアート展」に利用者の作品を出展しました

2月11日（土）から19日（日）まで、吉岡町文化センターの2階ギャラリーにて、吉岡町社会福祉協議会主催の「みんなのアート展」が開催され、山脈の利用者さんの作品も展示されました。

「みんなのアート展」は、吉岡町の住民の方々に、町内にある障がい児者の施設や団体を知ってもらおうと共に障がいのある方もない方もが一緒になってアートを楽しむことを目的として、全町民を対象に開催されました。

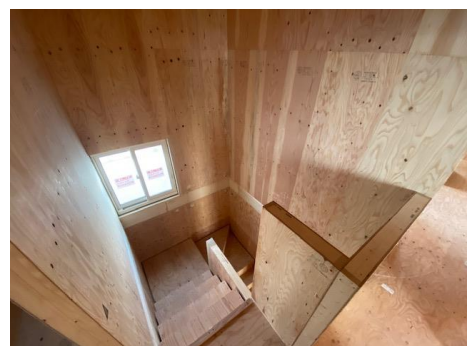
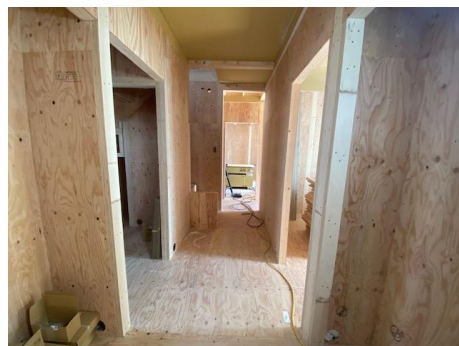
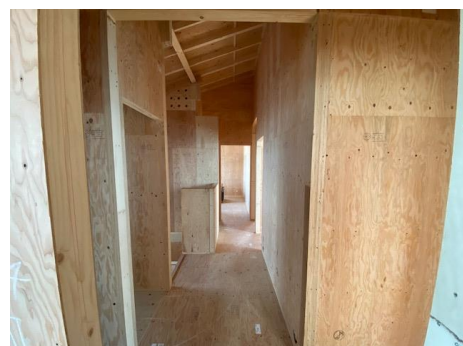
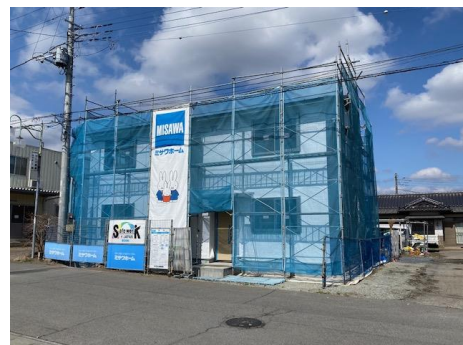
協力した団体は町内の障がい児者の施設や団体の他、小学校や中学校、精神科病院、近隣市町村にある特別支援学校など多岐にわたり、多くの作品が展示されました。山脈の利用者さん達もこの日のために力作を描き上げました。作品の一部を掲載しましたのでお楽しみください。

近年、障がいのある人の自己表現としてアートが注目されていて、アート作品を商品化するなど様々な取組みが紹介されています。今後もこうした障がいのある人のアート作品の発表となるイベントに期待します。



新ハーモニーやまなみ3号、5月中旬の竣工に向け着々と工事進行中！

グループホーム「新ハーモニーやまなみ3号」の新築工事は5月中旬の竣工を目指して年明けから本格的に着工しました。先日、グループホームのスタッフで内見をさせて頂き、間取り等の確認をしました。今後は、「旧ハーモニーやまなみ3号」から引っ越しされる入居者の方の内覧会を予定しています。



星の会 かわら版ナンバー6

2017年5月、東京都に住む女性（41歳）の重度の身体障がい者である長女（当時12歳）が、利用していた福祉施設の男性職員から性的暴行を受けたという事件が起きた。

【星の会の声】

酷い事件である。この両親は信頼していた施設に裏切られた。しかも、ちゃんと利用料を払っているというのに事件は起きた。娘の性暴力。娘は立つことも困難な重度の身体障がい者。性暴力を受けても抵抗はできない。犯人のこの男性職員は、この娘が、抵抗ができないことをいいことに犯行に及んだ。実にこの犯人は悪質だ。

良きマイノリティー施設は、スタッフが責任を持つ。メンバーに働きやすい環境を整える。メンバー安心して働ける。親御さん達も安心して施設に任される。メンバーは心地よく人間的にしていられる。

いかに障がいを持つ者を守るか。マイノリティーの施設は、このような性暴力事件を二度と起こさないように、人道的、人間的な管理体制と環境を整えて欲しいと思います。

※この度、俺の会を改め星の会となりました。